

らぶ Sports@

スポーツを愛する市民の専属情報誌
 6/16号
 毎週水曜日発行
 いわき民報(夕刊)

第56回県高校体育大会
 いわきでは剣道、バレーで熱戦

あじさい杯で2度目の優勝を飾った好間ウインズの選手。得点を挙げて歓喜の笑顔を見せた

好間ウインズがV

あじさい杯親善ラケットベース

優勝は植田ソフトボールクラブ

植田杯親善球技大会

challenge!
2010

いわき光洋高体操競技部



いわきで熱戦!! 第56回県高校体育大会

剣道

男子団体で湯本が優勝 インターハイ切符獲得 磐城は男女ともに3位



バレーボール

男子・平工が3位で東北へ 女子は磐城一、桜が丘が 惜しくも3位



challenge! 2010 いわき光洋高校体操部



小学生時代から通っているいわきラビット体操クラブの体操場で桐生監督(左)と。右から鈴木、斎藤、福田、女子の中心選手・星野、遠藤

先生と一緒に沖縄へ行こう！
約束果たした男子団体初優勝

県高体操競技男子団体が初優勝したいわき光洋は、モニターオール五輪で正選手2人の欠場により、代理の補欠選手を含むギリギリの5人で演技し(団体はチーム6人中、最後のいい上位5人の合計で競う)、ミスもケガも許されぬ中、最高の鉄棒で連続逆転し、五輪男子団体5連覇に輝いた日本チームとよく似ている。県高体での団体は4人で演技し、そのうち上位3人の合計得点で競うが、光洋は最初から福田隆太、斎藤誠也、鈴木久登の3選手しかエントリーしていなかった。

男子団体は光洋と日大東北の一騎打ちとなった。初日のゆかあん馬、つり輪を競って光洋が3・25差で首位、初優勝に大きく近づいた。しかし翌日、難度の高い技に挑戦した藤田、鈴木選手が相次いで着地に失敗。2種目を残り日大東北が逆で0・05上回った。この土壇場で光洋は踏ん張る。福田選手が並行棒で1位、鉄棒で2位と高得点を重ねれば、鈴木選手も平行棒4位、鉄棒3位と着実に高得点を重ね、無難に演技を行った。終わってみれば3・85差で日大東北に勝った。

湯本、磐城校が丘で体操顧問を務めた桐生良吉先生がいわき光洋で体操愛好会を立ち上げたのは平成19年秋。福田選手ら現3年生が入学した翌20年春、高体連加盟の部に昇格した。選手たちは中央台にある学校での授業を終え、小学校のときから通っている平下大越のいわきラビット体操クラブの体操場に移動して練習をする。その成果が創部3年目に実った。今ではヒット組だけでなく、入部して体操を始める生徒もいる。桐生先生は「驚異で失敗したときは『すべて忘れろ』と言った。それでも優勝を信じていた。初めてのインターハイでは圧倒されることも多いだろうが、自分が持っているものを出して悔いのない演技をしてほしい」と言う。その桐生先生は本年度で定年退職する。先生と一緒に沖縄へ行こうと誓った選手たち。エース福田選手は思っていたより攻めたいと意欲満々だった。また、女学個人総合2位の星野絵美選手(3年)もインターハイ出場を決めた。

▽部員 福田隆太、斎藤誠也、星野絵美、薄葉向子、大川原ゆかり(3年)、猪狩茜(2年)、鈴木久登、遠藤ひかる(1年)

第7回あじさい杯親善フットベースボール大会 好間ウインズが17チームの頂点に

市内17チームが出場し、13日に好間町のぬかり広場で熱戦を繰り広げた。決勝では好間の好間ウインズが4-1で小名浜の二岡ジュエルズを下し、第1回大会以来2回目の優勝を飾った。



第8回植田杯親善球技大会

8チームが出場し、6日に植田小グラウンドで開催した。青空の下、選手は攻守両面で全力プレーを披露し、白熱の優勝争いを展開。この結果、主催チームの植田ソフトボールクラブが優勝を飾った。

植田ソフトボールクラブが優勝!! 8チームが攻守にはつするプレー



いわき民報社・SEAWAVE FMいわき コラボ企画

スポーツのチカラ②

バドミントン
いわきレディース

稲村美幸さん



豊かな表情でコートに立ち続ける稲村さん

小柄な体にみなぎる躍動感。元ドミントン部の門をたたき、大所帯のソフトテニス部を離れた稲村さん。夫を支える妻として、4人の子供の成長を見守る母として、日々多忙な生活を送りながらも、稲村さんは現役選手としてコート

30歳半ばで現役復帰のママさん選手 飽くなき情熱を胸に目指すは日本一

に立ち続ける。目標は日本一。いつまでも強くありたいと思う。だから、中途半端な気持ちでは競技と向き合えない。

小川中ではソフトテニス部に所属していたが、磐城女子高ではバ

監督を務め、インターハイでベスト16入りするほどの強豪だった。稲村さんの入学とともに永井会長は他校へ異動したが、輝かしい伝統を継承したチームはハードな練習に明け暮れる。1年間で休日はずか1日。364日、シャトルを追い続けた。猛練習が実り、2、3年と団体戦でインターハイに出場。黄金時代の一翼を担った。

地元の短大を経て企業に就職。結婚し、4人の子宝にも恵まれた。いなむら・みゆき 小川町生まれの46歳。磐城女子高でバドミントン部に所属し、2、3年とインターハイ出場。社会人、主婦となつて一時競技を離れたが、現役復帰後は全国大会で活躍している。



身長154センチの小柄な体には、でっかい夢が秘められている

た。その間ラケットを握ることはなかったが、30歳半ばで現役復帰を決意する。すると「試合で勝ちたい」という思いが止められなくなった。「勝ちたいと思うと、いくらでも、いろんな練習をしたくなる」。子供を連れ、夜間練習に参加する日々。ときに体育館に子供の布団を持参することもあった。家事、子育てとの三足のわらわに迷惑をかけることなく、自分ペースで練習できるからだ。肉

体への負荷はダブルス以上だが、ハイレベルの全日本シニアにも挑戦し、昨年11月に福島市で開かれた大会では優勝者と大接戦を演じた。日本一にも十分手の届く距離まで近づいている。

「アマチュアなので基本は家庭」という姿勢はこれまでも、これからも崩さない。その上で「あきらめずに夢を持ち続けていきたい」と胸を張る。その姿を見守る永井会長も「考え方が前向きで一生懸命。いつも元気が明るく接してくれる。そこが彼女の魅力」と背中を押す。154センチの小柄な体に大きな夢を抱き、日本一への挑戦を続ける稲村さんだ。

いわきのスポーツ人に迫る「スポーツのチカラ」はいわき民報社とSEAWAVE FMいわきのコラボ企画。「らぶ@スポーツ」の中で毎月第3水曜掲載です。同FMで毎週水曜午後7時からオンエア中の「いわき熱血スポーツ学園」に取材記者が出演し、紙面では紹介しきれなかった裏話などを通して、さらにスポーツ人の素顔に迫ります。今回のオンエアは6月23日の予定です。お楽しみに。

情報くりっぴ

- 【17日】▼第58回市中学校体育大会・軟式野球(いわきグリーンスタジアムなど) 22日▼同・ソフトボール(好問多目的広場) ▼同・バスケットボール(市立総合体育館など) 22日▼同・バレーボール(勿来体育館など) 22日▼同・ソフトテニス(平テニスコート) ▼同・卓球(南部アリーナなど) 22日▼同・バドミントン(関船体育館) 22日▼同・サッカー(いわきグリーンフィールドなど) 22日▼同・剣道(平一中体育館) ▼同・柔道(市立総合体育館) 22日
- 【18日】▼第53回東北高校ソフトテニス選手権大会(平テニスコート) 19、20日
- 【19日】▼第63回県総合体育大会スポーツ少年団体大会(ミニバスケットボール競技いわき地区予選会(南部アリーナ)) 20日▼全日本ジュニア柔道体重別選手権県予選会(市立総合体育館)
- 【20日】▼勿来地区市民バレーボール春季大会(勿来体育館) ▼クラブカップ9人制バレーボール福島県予選会(内郷コミュニティセンター) ▼第10回県柔道高段者大会(市立総合体育館)
- 【22日】▼第58回市中学校体育大会・水泳(いわき市民プール) 23日▼同・ハンドボール(内郷コミュニティセンター) 23日
- 【23日】▼第58回市中学校体育大会・体操競技(いわきフットボール操(いわきフットボール操(市立総合体育館))

いい汗、流そー！

らぶSports@サークル

いわき車いすダンス研究会

- 会員数 8人(男5人、女3人)
- 代表者 佐藤 敏博
- 講師 村上 みち子
- 活動 三和公民館や泉公民館などで、毎月2~3回、不定期に活動。普段車いすを使わない人も、車いすに乗って踊っている。リハビリが必要な人でも、楽しみながら無理なくストレッチや筋力トレーニングができる。
- P R 車いすの人も車いすを使わない人も、誰でも気軽に参加してほしい。ダンス未経験者も大歓迎。
- 連絡先 (56) 4856 (村上さん)

水曜日の顔

